

[リタ]
そういえば、お姉ちゃんたち、聞いた？

[アルマ]
何よ……んっ、っはー……。
ちゃんと野草を摘むのに集中しなさい？

[エリーゼ]
まあまあ。
結構採れたし、少しお話でもしながら休憩にしましょう？

[アルマ]
お姉ちゃんはリタに甘すぎ。
アタシにもそれくらい優しくしてくれるなら文句もないけどさ～？

[エリーゼ]
私はアルマにもちゃーんと優しくしてるわよ？
ねー、リタ？

[リタ]
あー……。いや、アル姉がエリ姉のこと、すーっごく求めているから……。
優しくし足りない、ってことかも……。？

[リタ]
それよりも。
最近この森に変な男の人が出るんだって。

[エリーゼ]
変？
それって、見た目？
しゃべり方？

[アルマ]
そうじゃなくて。
アレでしょ？
年頃の女を襲いに来る男がいる、って話。

[リタ]
そうそう！
……って、アル姉知ってたの？

[アルマ]
最近どこ行っても注意されるもん。
っていうか、お姉ちゃんはなんで知らなかったの……。

[エリーゼ]
んー……。確かにそういう危険な人がいるのは困るけど……。
聞き逃してたのかしらね？
私は襲われそうにもないから……。

[アルマ]
襲われるよ！

[リタ]
襲われるよ！

[リタ]
エリ姉みたいなふわふわ可愛い系女子なんてまっさきに変態に狙われるタイプだって！

[アルマ]
っていうか、お姉ちゃんだったら変質者じゃなくても男が狙いに来る！
アタシが保証する！

[エリーゼ]
そんなこと保証されても困っちゃうわ……。……でも、本当にそういう男の人がいるなら……。ちゃんと戸締りくらいはしておかないといけな
いわね……。アルマもリタも、もう年頃なのは同じだし……。

[アルマ]
……。確かに、お姉ちゃんを狙うついでにアタシやリタを襲ってもおかしくないか……。

[リタ]
ついだって言われるのは心外だけど……。……でも、言ってることは分かる。
私も、ちゃんと鍵とかかけとかなないとだな……。

[エリーゼ]
私も気を付けるから、あなたたちも気を付けてね。

[エリーゼ]
はい、どちら様……？

[リタ]
エリ姉？
私だよ、リタだよ。

[エリーゼ]
ええ？
なんでこんな時間に……。もう寝なきゃダメでしょ、明日も早いのよ？

[リタ]
ごめんね。でも、どうしても今日中にお話ししておきたいことがあって……。……
ちょっと開けてもらってもいいかな？

[エリーゼ]
んー……。ちょっと待っててね～？

なあに……。……って……。え！？

あなた、だあれ？
妹は……きゃッ……！？

[エリーゼ]
ったたたた……。
ちょっと、いきなり押し倒すなんて危ないでしょう……。
それより、うちの妹はどうしたんです？
さっき、声がしたんですけれど……。

……え？
もしかして……あなたが、2人の言っていた変質者ですか……？
つまりその……私に、夜這いを仕掛けにきた……という……？

はー……ダメですよ？
男女というのは、お互いのことを知って、お互いが認め合い、愛し合い……。
そうして多くの時間を積み重ねたうえで夫婦になって、そこでようやく性的な営みを持つのが礼儀というもの……。
せっかくあなたは素敵な人のように見えますし、そうやって時間を掛ければ、私なんかよりも素敵な女性と出会って、幸せな家庭を築けるはずですよ。
ですから、こういうことはやめて、どなたか愛する人としっかりとお付き合いを――

きゃあッ……うう……！
せっかく織ったネグリジェがあ……もお、ダメですってば……！
んう……ッはー……ダメ、そんなとこ触らないでください……！

んんっ……ッう、んふう……ッああ……なんてことッ、っあッ、ッああ……。
異性の股間にッ、んっ……手を伸ばすなんてッ、っはー……！
信じられませんッ、っあッ、っはー……。

当たり前でしょうッ、っはー……こんなことッ、誰とだってするわけないじゃありませんかッ、ッはー……。
んんっ、ッう、んんっ、今ならッ、っはー……まだ取り返しがつきますッ、んんっ……。
その手をどけてッ、っはー……私の上から下りるのですッ、っはー……。
そしてッ、ッんんっ……。
今日までのことを反省してッ、ッあッ……素敵な人生を送ってくださいッ……！

やッ、んあッ、キスはダメですッ、そんなことしたら赤ちゃん出来ちゃいますッ……！
んむうッ……！！

んうう、ぢゅっ、れりゅれりゅ……ぢゅぢゅ、ッう、んんっ……！
ッはあ、やめてッ、くださいッ、ぢゅぷッ、ッ、んう、ぢゅっぢゅ、ずぢゅるう、ッはー……！

ッおお……！？
っあッ、やッ、ダメですッ、ッう、んふう、ッあッ、そんなに激しくしちゃッ、ッあッ……！
んあッ、ッあッ、変なの来ちゃうッ、っあッ、ッおおッ、ダメッ、ッいつ、やめてくださいッ、
っあッ！
ダメッ、なのッ、ッあッ、やッ、ッううう……！！

んあああ！！

ッあっ、っはー……ああ……なに、今の……っはー……ッはあ……。
いえ……そういうところは、触るものではないので……っはー……自分で、こんなことをしたこ
となんてありません……。
っはー……何が目的かわかりませんが……もうこれ以上はいいでしょう……。
キスまでされて……悔しいですけど……でもとっても気持ちよかったし、今で見逃してあげ
る、っていうことにしましょう？
ほら……いいから、早く私の上からどいて――

ッおっ、っあっ、ッおっ、ダメっ、ですってばあっ、っおっ、おほっ、ッおお！
頭っ、おかしくなってしまうすッ、っおっ、んおっ、ッあっ、イクっ、ってッ、っあっ、なん
ですかあッ、ッおっ！
おほっ、ッおっ、この気持ちいいのがッ、っおっ、『イク』って、ことなんですかあッ、ッお
っ！
おほっ、ッおっ、はいっ、ッおっ、イキそうですっ、ッおっ、ッおっ、おっ、恥ずかしいところ
っ、ッあっ、イっちゃうッ……！

おほっ、ッおっ、おっ、おまんこッ！
おまんこですっ、ッおっ、誰にも触られたことないおまんこでッ、っあっ、イクのっ！
おっ、ッおっ、イギましゅっ！
おまんこイクっ、っおっ、イクっ、イクイクイクイクう……。！！

ッおおお！？
おっ、イギっ、ましたっ、ッおっ、気持ちいいの来たからッ、ッおっ、んほッ、ッおお！
おっ、おてて止めてっ、ッおっ、おほっ、ッオッ、ぎぼちいいのでッ、っおっ、おまんこ壊れち
やうよおっ！

っおっ、おほっ、ッおっ、はいっ、ッおあっ、キスしてもいいでしゅ！
おほっ、お願いしますっ、っおっ、キスしていいからおまんこめてえっ！

れぢゅっ、んぢゅぶッ、っおっ、ぶぢゅっ、ずぢゅるッ、っおっ、れぢゅれぢゅっ！
ずぢゅばっ、ッおっ、イグっ、おまんこイクっ、ぢゅうう、んぶっ、ぢゅっぢゅっ！
ずぢゅう、ぢゅっぢゅ、ッおっ、イグっ、イク、ダメっ、ッおっ、イギましゅ！
ずぢゅぶっ、ッおっ、イグううう！！

ッおおお～～……。！！

お、あ、あへへえ……。おしっこ、出ちゃったあ……。あ、ああ……。
はい……。すっごく……。気持ちよかった、ですう……。
んー……。はい……。そうですねえ……。気持ちよくしてくれて、ありがとうございましたあ……。

んえ……。？
あの……。なんでおズボンを脱いでらっしゃるんですか……。？
……。もしかして、さっきの私のおしっこがかかってしまいましたか……。？
それは、大変なご無礼を……。

んふッ……っはー……え……あの……。
おちんちんが当たっているのですが……。

……お、おまんこ……です……。
さっき手でいっぱいぐちゅぐちゅしていただいて、とても敏感なので……。
おちんちんでも触られるのはちょっと……。

……へ……？
あの……そこにはおちんちんは入りませんよ？
だって、ほら、全然大きさからして無理じゃないですか……。

や……ちょ、ちょっと待ってください！
本当にそんな大きいの入らない——

ッうおお……！？

あ……はあ……ああ……入るのは入りましたが……っはー……。
痛い……ですよ……無理やりするから……っはー……。
はい……気持ちいいとかは、ないです……。
本当ですって……んんう……締めてなんかいません……。

ッうお……あっ、ッは一つ、ッう、んんっ……！
違いッ、ますう、ッあっ、これはっ、気持ちいいのではっ、なくてえっ、っあっ、んは一つ…
…！
っあっ、大きっ、すぎるモノでっ、っはーッ……お腹をッ、っああ……押されているからっ、ッ
はー……。
変なッ、ッお、声がッ、っはあっ……出てるだけっ、ですう……ッはー……。

んあっ、ッう、ッはー……あっ、んんっ……ッふ、ッおお……！
こんなことっ、っあっ、するなんてえっ、っあっ、ひどいつ、ですよおっ……！

あんっ、っあっ、っは一つ、えっ、ッあっ、これがっ、っあっ、赤ちゃん作る方法っ、なんです
かあっ？
っあっ、じゃあっ、っあっ、キスで子どもが出来るっていうのはっ、っあっ、んっ、ッふーッ…
…！
んあっ、ッう、んふうっ、ッう、んんっ、ッは一つ、っああっ……！
迷信ッ……！？
っあっ、んはあっ、そんなっ、っあっ、あんなにっ、気持ちよかったのにいつ？

ッう、んんっ、っあっ、やっ、違いますっ、そういう意味じゃないっ、っあっ！
今っ、んんっ、こんなことされながらキスしたらっ、っあっ、おかしくなっちゃいますよおっ…
…！

んぶう、ッあっ、ぢゅっぢゅっ、んぶっ、ッはっ、っおっ、ぢゅっぢゅッ、ッうう……！
んおっ、ぢゅぱっ、れぢゅれぢゅっ、ぬぢゅう、ずぢゅるっ、んぶっ、ぢゅううッ……！

ッはあっ！

っあっ、んは一つ、ッはあっ……ダメっ、だってッ、言ったのにいつ……！

ッおっ、んおっ、おっ、ぢよっ、ッおっ、激しくするのダメっ、っおっ、おほっ、ッおっ、お

っ、んおっ、おがしっ、ッおっ、おまんこっ、おかしくなっちゃうっ、ッおっ！
おてでッ、っおっ、されてたよりっ、ッおっ、奥の方がッ、っおお、キちゃうのおっ！
ッおっ、んっほっ、ッおっ、おほおっ、ッおっ、おおっ……！
おっ、ごわれりゅッ！
おまんこイっちゃいましゅっ！

ッおっ、おほっ、おちんちんでッ、っお、ズボズボされてっ、イグっ、っおっ、おまんこイク！
あひっ、りやめっ、ッおっ、らめれしゅッ！
おっ、イグっ、イクイクイクイクうう！！

んおおおお！！

おっ、おっ、あえっ、おっ、ダメっ、イったっ、イきましたっ！
ッおっ、おまんこイったのにつ、ッおっ、おほっ、ッおっ、んおっ、おっ、おっ！
ダメっ、おっ、おまんこ裏返っちゃいましゅ！
おっ、おほっ、おっ、はいっ、っあっ、気持ちいいですっ！
おちんちんにっ、ッおっ、おっ、ズボズボしてもらってっ、っあっ、んおおお！
おまんこ最高に気持ちいいのッ！
っおっ、他のことなんて全部どうでもいいからっ、ッおっ、このままおまんこしてくだしゃい
っ！
っおっ、おほッ、っおっ、イグっ、またイキましゅっ！
っお、おほっ、ッおっ、はいっ、いいですっ、ッおっ、あなたもッ、ッおっ、イっていいです
っ！
ッおっ、イグっ、おまんこイクのっ、おほっ、ッおっ、イグイグイグイグうう！！

んおおおお！！

お……おー……ッは……ああ……えへへ……あー……気持ちよかったあ……。
……へー……こうやって……おちんちんでズボズボしてもらったら……赤ちゃん出来ちゃうん
ですかあ……。
っはー……んーん……赤ちゃんがどうか、どっちでもいいかなって……。
だって、こんなに気持ちよかったんですもの……。

……あなたも、イって、気持ちよくなりました？
えへへ……それなら良かったです……。
……せっかくですし……もう1回なさいます？
……ええ、私は大丈夫……むしろ、ぜひ続けていただければ……。

[アルマ]
……お姉ちゃん、遅くない？

[リタ]
そうだね……いつもなら一番に来て私たちのこと待ってくれてるのに……。
お洋服選びに迷ってるとか？

[アルマ]
お姉ちゃんならあり得る……けど、それにしたって遅すぎるよ。
ちょっとアタシ見てくる。

[リタ]
あ、待ってお姉ちゃん、私も行く！

[アルマ]
お姉ちゃん？

[リタ]
エリ姉～？
……返事ないね……。
あ、ちょっとアル姉……！

[アルマ]
……カギ開いてるんだけど。

[リタ]
締め忘れたのかな……？

[アルマ]
お姉ちゃん、開けるよ？

[リタ]
エリ姉！？

[エリーゼ]
あへへ……ッ ああ……おちんぼ最高お……。

[エリーゼ]
おお……おちんぼ……もっとおちんぼください……。
っはー……まだまだおまんこイキ足りないよお……。
ッおお……あへへへ……交尾するう……おちんぼ様と子作り交尾しますう……。
おまんこお願いします……おちんぼ様でズボズボ犯してえ……。
っはー……ッおお……おまんこもっとお……。

[アルマ]
お姉ちゃんしっかり！

[リタ]
アル姉、これどうなってるの……！

[アルマ]
分かんないけど……もしかして噂の変質者に襲われたんじゃ……。

[リタ]
そ、そんな……！

[アルマ]
とりあえず、野草摘みは中止……お姉ちゃんの看病しよう……！

[リタ]
うん……！
とりあえず私、ドアのカギ締めてくる……！

[アルマ]
はー……今日は疲れたな……。
まさかお姉ちゃんが……。
いや……お姉ちゃんほどの美貌があれば狙われるのは当然なんだけど……。
それにしても、なんで襲われたんだろう……やっぱり、カギかけ忘れてたのかな？
お姉ちゃん、そういうところあるから……。

[アルマ]
……アタシは大丈夫。
ドアも窓もカギかけたし、これで不審者が入ってくる可能性はゼロパーセント……。

[アルマ]
ひッ？！
……あ、あの……どちら様……？

[エリーゼ]
アルマ？
私よ、エリーゼ！

[アルマ]
え、お、お姉ちゃん！？
どうしたのこんな夜中に……！

[エリーゼ]
大変なの、いいから早く開けて！

[アルマ]
えっ……まさかまた変態に襲われてるんじゃ……！
今開けるから待ってて！

[アルマ]
お姉ちゃん！
……え、誰、その人……きゃあっ！

[アルマ]
あっ、おいバカっ、どこに顔突っ込んでんのよ変態っ！
お姉ちゃんも何してんのっ！
早くコイツどかして！！

[エリーゼ]

えへへえ……ご主人様あ……。
上手にドア開けるのお手伝いできましたよ～？
だからあ……ご褒美のおちんぽお……早くう……。

[アルマ]

……お姉……ちゃん？
や……ちょっと、ホントに……息当たってるッ、っはあッ、バカッ、やめろッ……！

ねえッ、っあッ、お願いだからやめてッ、やだッ、そんなとこ舐めちゃダメッ、っはー……。
うッ、ッうう……お、おまんこ舐めないでください……！

んああああ……！

ッあ……ねえッ、っはあッ、汚いんだけどッ、ッうう、やだッ、っあッ、放してよッ……！
そんなとこベロベロッ、っあッ、気持ち悪いッ、ッうう……！

[エリーゼ]

っはー……えへへ……アルマあ、ちゃんと本当のこと言わなきゃダメでしょ～？
おまんこ舐められたら、とっても気持ちいいよね～？

[アルマ]

ッおああ……お姉ちゃんッ、っあッ、どうしちゃったのおっ……！
こんなッ、ことおッ、ッはーッ、お姉ちゃんはッ、しないでしょッ、ッはーッ、ッうう……！
コイツにッ、んんッ、洗脳でもされたのっ……！

[エリーゼ]

洗脳なんかされてないわよ……っはー……どっちかって言うとお……ちゅっちゅ……。
目覚めた、の方が近いかな～……れりゅれりゅ……ずちゅうう……。
私のカラダはあ、おちんぽケースになるためのものなんだーって……ちゅぱッ、れりゅれりゅ……。
ご主人様のおちんぽ様に教えてもらっちゃったから……ちゅぱちゅぱ、れりゅりゅうう……。
ねーッ、ご主人様～？

[アルマ]

ッおッ、んはッ、ッおお……何言ってるんのッ、っあッ、お姉ちゃんッ、っあッ、変ッ、っあッ！
変だよッ、っあッ、待ってッ、っあッ、なんかッ、なんかキチャウからダメッ、ッあッ、ッお
お……！
んおッ、変態ッ、っあッ、吸っちゃダメッ、っあッ、おまんこじゅぱじゅぱ吸わないでッ！
ッおッ、おあッ、ダメッ、お願いだからッ、っあッ、ッおッ、おお……！
おッ、ッおッ、イグッ、ッう、んんッ、ッおッ、イクッ、ッおお……おあああ……！！

ッおお、おッ、ッおッ、イキましたッ、ッおッ、おまんこイったからッ、ッおお……！
やめッ、ッおッ、イったら敏感になるのッ、ッおッ、おッ、ッおお……！

[エリーゼ]

っはー……えへへ……ご主人様あ……ごめんなさい、はしたない妹で……。
おまんこアクメのこと、もう知ってたみたいですわね。
ぢゅっぢゅ、れりゅうう……他のオスと交尾したことは無いと思うんですけどお……。

[アルマ]

あるわけないでしょっ、っあっ、こんなのっ、ツうう……おちんちんなんてっ、ッはー……！
結婚してッ、つうう……赤ちゃん作るときにすることっ、ッおお……あっ、ッはーっ、ダメっ…
…！
ホントにっ、ツう、んんっ、またイクっ、ツう、んんっ、あっ、ダメっ……！
キちゃうっ、ツう、んっ、スゴいのキちゃうからあっ！
ッおっ、んおっ、イグっ、イクっ、イクイクイククうう……！

[アルマ]

んおおおっ、ッお、らめっ、ッあっ、おしっこ、出ちゃったあ……ッおお……！
バカあっ、っあっ、ッはー……そんなに舐めるからあ……！

[エリーゼ]

ふふっ……恥ずかしいおもらしアクメキメちゃうところが似るなんて……。
ごめんなさいね、ご主人様……。

[エリーゼ]

えへへ……ご主人様あ……。
このままアルマと交尾するんですかあ？

[アルマ]

は……？
それはホントにダメだから……。
舐めてる時点でどうかしてるけど……っはー……それ以上なんて……。

[アルマ]

ひッ……え……お、おちんちんって、そんなに大きく……？

[エリーゼ]

もしかして、私がお背中におっぱいぎゅーってしてるので、余計にガッチガチになってるんではないかねえ？

[エリーゼ]

イヤらしくて最高……。
アルマに中出しキメたら、次は絶対、私のメス穴も犯してくださいね、ご主人様……。

[アルマ]
やッ……ダメだって……！
アンタだって、こんなのシちゃダメって分かってんでしょ……！
お姉ちゃんもとめさせてよ……！

[エリーゼ]
ご主人様のおちんぼ様は、すーっごくおっきくて、カタくて、おまんこ気持ちよくしてくれるんだよ？
なんでダメなの？

[アルマ]
だからそれは――

[アルマ]
ッおお……！？
あ……ああ……こんなッ、ッは――……こんなのって、ないよお……。

[エリーゼ]
っは――……あれ？
アルマは最初からとっても気持ちよさそう……。
最初におちんぼ様でズボズボしていただいたときはちょっぴり痛かったのに……。
やっぱり、他のおちんぼ様と交尾したことあるんでしょ……。
もう、ちゃんとお姉ちゃんに交尾気持ちよかったよって教えてくれないと……。

[アルマ]
ッお、違うッ、ッうう、んふっ、ッおお……おっほッ、っおお……！
自分でッ、っおっ、してたっ、からああ……！
お姉ちゃんとッ、ッおお……こういうことしたいと思ってっ、っあっ、おまんこ指でイジってたのっ、ッおお……！
おほっ、ッおっ、んんっ……ッおっ、だからっ、っあっ、男の人とするのは初めてッ、ッおっ、んおお……！
それなのにつ、っあっ、こんなッ、名前も知らない男にッ、ッおお……されるなんてえっ……！

[エリーゼ]
んはあ……でも、気持ちいいよね？
おまんこズボズボしてもらって気持ちよかったら、なんて言わなきゃいけないのかな～？

[アルマ]

ツう、んんっ、っあっ、やっ、言わないッ、言いたくないッ、っおっ、んっ、ッおお……！
おっ、ツう、んふっ、ッお、おっ、やっ、ダメですっ、続けてっ、っおっ、おちんちん動くの止
めちゃやダあっ！
ッおっ、んっ、ツう、ッふーっ、っあっ、分かったっ、っあっ、言うっ、言いますッ、っおっ…
…！
あ、ありがとうっ、ございますっ、ッはーっ、ッおっ、おちんちんっ、していただいてっ、ッは
ー……！
気持ちよくてっ、っあっ、嬉しいですっ、ッああ……！

[アルマ]

ッおお……！？
おっ、りやめっ、れしゅっ、ッおっ、おほっ、おっ、そんな風に激しくしたらッ、っああ……！
お腹ッ、ッおっ、おまんこの形変わっちゃうッ！

[エリーゼ]

んふふ……ちゃんとおまんこのお礼言えて偉いね～？
ご主人様も、アルマのこと、おちんぼシゴき用の穴って、ちゃーんと認めてくれたみたい……。
嬉しいね～、おちんぼ様にズボズボしていただいて、感謝しなきゃだね～？

[アルマ]

ッおっ、うっ、んふっ、ッおっ、するっ、っあっ、感謝するからっ、ッおっ、おほおっ……！
っおっ、おちんちんしてくれてありがとうございますっ、ッおっ、んふっ、ッおお！
おっ、っあっ、だからっ、もういいっ、もう十分だからッ、ッおっ、おほっ、ッおお！

[エリーゼ]

んはあっ、っはー……えへへ……ご主人様、もしかしてアルマのおっぱいに興味あるんですか？
それはお目が高いですねえ……。
この子、歩いてるとおっぱい出ちゃうってよく言ってる……。。

[アルマ]

ッおっ、余計なこと言わないでえっ！

[エリーゼ]

大事なことでしょう？
お洋服とこすれて、ぴゅっぴゅ～って出ちゃうことが結構あるって……。
誰かに搾ってほしいって言ってなかった？
ほら、今もうっすらおっぱいのところが濡れてるみたいだし……。
ね、ご主人様、せっかくですから、アルマのおっぱい、ぎゅっぎゅって搾ってあげてくださいま
せんか？

[アルマ]

それはっ、ッおっ、お姉ちゃんにしてほしかっただけでっ、っあっ、やっ、ダメっ、ホントにダ
メだからっ、ッお……あああッ！

[アルマ]

ッおおお！！

おっ、りやめれしゅっ、ッおっ、おほっ、おっ、ぎぼぢいいの止まんなくなるッ、っおっ、おほおっ！

おっ、おっぱい出るッ、っおっ、おっぱいびゅーすりゅッ、っおっ、おほおっ！

おっ、イグっ、おまんこどぢゅどぢゅされながらイクのっ、ッおっ、おっぱいイクっ、ッうう…
…！！

[アルマ]

ッおあああっ！

ッおっ、んふっ、ッおっ、おっほッ、ッおお！

おっ、りやめれしゅっ、ッおっ、こんなの無理ッ、ッおっ、おほおっ！

おっ、おちんぼ気持ちいいって、おまんこがただのオナホってこと認めちゃうよおっ！

おっ、おほっ、ッおおお！！

[エリーゼ]

んふふ……ご主人様、さすがです……。

アルマもちゃんとご主人様のものになりましたね……。

さ……哀れな妹豚ちゃんにも、ご主人様の子種汁、びゅるびゅるして差し上げてください……。

[アルマ]

おッ、んお、くらしやいっ、ッおっ、おちんぼ汁くださいっ！

おほっ、ッお、イグっ、おっ、おまんこイクっ、イクイクイクイクうう……！！

[アルマ]

ッおおお……！！

おほっ、ッお……おおお……！

[アルマ]

んおお……！！

[エリーゼ]

えへへ……ご主人様～？

[エリーゼ]

次は、私のこと使ってくださいよお……。

ご主人様に言われた通り、お尻の穴、ちゃーんとキレイにしてみましたよ？

おまんこケツ穴、どっちが気持ちいいのか、おちんぼ様で確認してください？

[アルマ]

だめえ……もっかいアタシい……おちんぼしてもらいたいのお……。
お姉ちゃんは後お……。

[リタ]

んんん……。
エリ姉もアル姉も遅い……！
エリ姉は昨日のことがあるから今日もゆっくり休んでたっておかしくないけどさ？
アル姉はどういうつもりなワケ？
いっつも私がちょっとでも遅れたら口やかましく言うてくるくせにさー……。

[リタ]

……え、いや……まさか、そんなことは無いよね？
アル姉も襲われてるとか……いや、ないないないない……。
だって、アル姉と「ちゃんと鍵かけようね」って約束したし……。
……でも……それならなんでこんなに遅いの……？
……はー……もー……世話の焼けるお姉ちゃんたち……！

[リタ]

アル姉！
いるんでしょ！

[リタ]

エリ姉一緒に起こしに行こう！
アル姉！

[リタ]

……え……開いてる……？
……アル姉……開けるよ……？

[リタ]

えっ……！？

[リタ]

エリ姉……アル姉！

……ああ……なんてこと……しっかりして！
二人とも、こんなにおまんこぷっくり腫れて……。
しかも、エリ姉はお尻からも白いのがあふれてる……。
……これ……やっぱり精液だね……馬の種付けで見たことあるもん……。
……今拭いてあげる……ちょっと待ってて……。

[リタ]
はー……お姉ちゃんたち大丈夫かな……。
ずっとうわ言みたいに「おちんぼ」とか言ってたけど……。
一応「カギかけて寝てね」って言ったから……まあ、大丈夫、かな……？

[リタ]
ひッ……！？

[リタ]
……もしかして、変質者、かな……？

[エリーゼ]
リタ？
もう寝ちゃった？

[リタ]
え、エリ姉……？

[アルマ]
アタシたち、リタと一緒に遊びたくて来ちゃった。
ここ開けてよ。

[リタ]
アル姉も一緒……。？
え、なんで……。？

[エリーゼ]
リタ～？

[アルマ]
早く開けなさいよ～。

[リタ]
イヤ……今日はもう眠いから……。！
お姉ちゃんたちもちゃんと帰って、戸締りして寝て！

[アルマ]
……ふーん……だってさ？

[エリーゼ]
残念ね……せつかく、とっても楽しいことしようと思ってたのに……。
それじゃ、また明日。

[リタ]
……これで、大丈夫……だよな……？

[リタ]
お姉ちゃんたちのことも心配だけど……。
もし変質者が近くにいたら私も危ないし……仕方がないよね……。

[リタ]
……え……何？
何の音……っていうか……この声……エリ姉とアル姉じゃない……？

[アルマ]
ッおっ、ごめんなさいっ、っあっ、ご主人様のご期待に沿えずッ、ッおお！
申し訳ございませんッ、っあっ、メス穴で反省しております！
お気の済むまでハメまくって中出しキメてくださいませっ！

[リタ]
……アル姉……？

[エリーゼ]
おっ、ッおっ、私の下品なメス穴もッ、っおっ、ご主人様の指でぐちゅぐちゅしまくってっ、ッ
はーっ……！
いつでも使えるようにほぐしてくださいませっ、ッおっ、おまんこもケツ穴も、ご主人様専用の
オナホ穴ですうッ！

[リタ]
エリ姉も……！
何してんの二人とも……！

[リタ]
ッ……！？
え……あ、う、ウソ……！
エリ姉とアル姉が……男の人とエッチしてる……。
ッうう……そんなの……ダメだよお……。
ちゃんとそういうのは、好きな人同士になってからじゃないと……。

……でも……。

[エリーゼ]

ッおっ、おほおっ、ご主人様の指チンポ気持ちいいでしゅうう！

[アルマ]

おほっ、ッおっ、おちんぼ！
おちんぽおっ！
もっともっと激しくパンパンしてくださいっ！
交尾気持ちいいですううッ！

[リタ]

お姉ちゃんたち……気持ちよさそうで……いいなあ……。
……私も……ここでオナニーするくらいなら……いい、かな……。

[リタ]

んうう……っはー……すっごく濡れてるう……。
私、最低だ……お姉ちゃんがあんなことされてるの見て……興奮しちゃうなんて……。

[リタ]

んうう、ッおお……ああ……は一つ、ッう、んんっ……！
ごめんねお姉ちゃんッ、っあっ、ッふ一つ、ッうう……！
ごめんなさいっ……ッあっ、ッうあああ……！
でもおっ、ッう、んんっ……そんな気持ちよさそうな顔してるの見ちゃったらあっ……！
っあっ、私だっておまんこムラムラしてきちゃうよお……！

[リタ]

んあっ、ッおっ、ッうう……おまんこ気持ちいいっ、っあっ……！
どうしょっ、ッあ……手っ、止めらんないよおお……！

[リタ]

ひッ？！

[エリーゼ]

つかまーえたっ……。

[アルマ]
つかまーえたっ……。

[リタ]
あ、お、お姉ちゃん、たち……これはその、ちがくて……！

[エリーゼ]
ダメだよ、リタ……お姉ちゃんの交尾盗み見ながらオナニーなんて……。

[アルマ]
そーそー。
リタがムッツリスケベなのは、アタシうすうす気づいてたけど……。まさか姉をオカズにマンズリしちゃうとは思ってなかったな～？

[エリーゼ]
それはアルマも同じでしょ～？

[リタ]
んーうう……！
やっ、ダメえっ……後ろからお尻掴まないでえ……！

[アルマ]
だーめっ……。
ご主人様とお姉ちゃんたちの交尾を見た罰として……。ワンワンスタイルのバックハメでご奉仕しなさい！

[リタ]
ッおああ……？！

[エリーゼ]
んふふ……ごめんなさい？
この子ったら、ご主人様のおちんぼ様が気持ちよすぎたみたいで……。

[エリーゼ]
イキ潮ぶち負けながら敗北アクメしちゃったみたいです……。

[アルマ]
ご主人様……このメス豚は、私たちの大事な大事な妹です……。

[アルマ]
どうか、オナホとしてご堪能ください。

[リタ]

い、イヤ……抜いて……。

[リタ]

ッおおお！？

おほっ、ッおっ、んほっ、ッおおっ、にやにこれっ、ッおっ、おほおっ！

おちんちんぎもぢいっ、ッおっ、おほおっ！！

おまんこ広がっちゃうよおお！！

[アルマ]

んはあ……ダメでしょリタ……。

おちんちんじゃなくておちんぼ様……。

おまんこはおちんぼ様にご奉仕するためにあるんだからね？

ちゃんと感謝しながらハメていただかないと……。

[リタ]

おっ、ッおっ、そんなことっ、言っただってえっ、ッおお！

おほっ、ッお、ぎぼぢいッ、っおっ、気持ちよすぎてっ、分かんなくなっちゃうッ、っおっ！

おほっ、ッおっ、イっ、ッおお！

[エリーゼ]

っはー……ご主人様あ？

私やアルマとパコパコしてくださっているときよりもエグい腰使いで素敵ですう……。

でもでもお……私の子宮にもこの強おいピストンしてほしいな～……。

[アルマ]

んはあ……アタシもですよお……今日の朝から10時間くらいガマンしてたんですからあ……。

ちゅぱっ、ずちゅうう……メス穴がザー汁でパンパンになるまでコキ捨て交尾してほしいですう……！

[リタ]

ッおっ、カタいっ、どちゅどちゅスゴいのっ、ッんおっ、ッおお……！

おっ、イグっ、おまんこイギましゅっ！

おほっ、ッおっ、おっ、はいっ、ッおっ、種付けでも何でもしてっ、っおっ、おほおっ！

おっ、イギましゅっ、おっ、おほっ、ッおっ、イクイクイクイクうう！！

[リタ]

んおおおお！！

[リタ]

おお……ッああ……はへ……また、潮吹いちゃったあ……えへへえ……。

[エリーゼ]

ッはー……。

[アルマ]

はー……。

[エリーゼ]

ふふ……お部屋中に、リタのヤらしいメスのニオイ、いっぱい広がっちゃったね……。
いっぱいイケて、エラいぞ～……。

[アルマ]

ご主人様あ……まだまだおちんぼ、イケますよね？
今日は朝まで……アタシたち三匹のメス豚に、たくさんご奉仕させてくださいませ……。

[アルマ]

ご主人様は、そちらのベッドで、全裸になって、仰向けでお待ちください……。
今アタシたちメス豚も、しっかり準備してからご奉仕に伺いますので……。

[リタ]

ッおおお……！！

[エリーゼ]

うふふ……ご主人様ったら容赦なくて素敵……。
おまんこのこと、ハメ穴としか思っていない扱いしてくださるの、本当に最高です……。

[エリーゼ]

……はい……お待たせいたしました……。
私が、ご主人様に母乳を飲ませて差し上げる担当の、エリーゼです。
……はい、アルマの方がおっぱいは良く出るんですけど、私も多少なら搾れますので……。
ぜひ私の母乳で、喉を潤してくださいね。

[アルマ]

sonde、アタシと、さっきおまんこを使っていたリタで、おちんぼ様に母乳パイズリでご奉仕させていただきますねー。
ほら、リタもちゃんと挨拶。教えてあげた通りにね？

[リタ]

あ、あの……先ほどは、私のオナホマンコをご利用いただき、ありがとうございました……。その……。おっぱいでおちんぼ様にご奉仕するのは初めてですが……精一杯頑張りますので、どうぞ、乳マンコでお射精なさってください……。……あ、はい……妄想で、おちんぼしゃぶるみたいなのは、よく考えてました……。イメージトレーニングだけはバッチリです……。！こんな感じですよ……。？

[アルマ]
あっ、ちょっと……。！
すみません、おちんぼ様にご奉仕したい気持ちが先走っちゃったみたいで……。！
いますぐ母乳ぶっかけてパイズリしますので、少々お待ちを……。！

[アルマ]
ッおお……。っは……。
ほらリタ……。これでいいから、ちゃんとおっぱいでおちんぼ挟んで……。！
こんな感じで……。！

[アルマ]
んあっ、ッは……。ふふっ、そう、上手だよおっ、っは……。
んふう、ッは……。えへへ……。いかがですか、ご主人様あ……。！

[エリーゼ]
いいなあ……。
メス汁とザー汁にまみれたおちんぼ様……。私もおしゃぶりにしたかったです……。

[アルマ]
お姉ちゃんのご主人様に母乳吸っていただけるんだからいいでしょ……。！

[エリーゼ]
それはそうだけどお……。んう……。
ご主人様あ……。ぜひおっぱい、ぢゅぱぢゅぱしてください……。
乳首でちゃんとアクメしておちんぼ様のお役に立ちますから……。！
んッ、おお……。！

[アルマ]
っは……。リタあ……。ずっと独り占めしないでアタシにもおちんぼ様しゃぶらせてよお……。！

[リタ]
んはあ……。！

[リタ]
あっ……。うう……。アル姉……。！
っは……。えへへ……。ご主人様、私のフェラチオ、いかがでしたか？
お姉ちゃんたちには内緒で、お野菜でおしゃぶりの練習してたんですけど……。
ご主人様のおちんぼ様が想像よりずっとおっきくて……。根元まで咥えて差し上げられず申し訳ありませんでした……。
でも……。っは……。味とかニオイとか温度とか……。お口に入れてると、すっごくゾクゾクしちゃって……。
さっき犯されてるときはちょっと怖かったけど……。でも、このおちんぼ様にご奉仕するんだっていう気持ちが、すっごく強くなったって言うか……。
えへへ……。何言ってんだって感じかもしれませんが……。ホントにそう思っちゃったんです……

…。

[エリーゼ]

っはー……んうう……もう……いいからちゃんとおちんぼ様にご奉仕しなさい……。
んっ、っはー……ご主人様も、もっとしっかりしゃぶらせたかったら、二人の頭押さえつけたり
しちゃってもいいんですからね……。！

[リタ]

んうう……エリ姉怖い～……好きなもののことになると超真面目なんだから……。
……すみません、それじゃ、改めてフェラさせていただきますね……。
……アル姉、ちょっと顔上げて……。

[アルマ]

んはっ、ッうう……リタのしゃぶり方エロいい……。！
アタシもそれするう……。！

[エリーゼ]

ッおっ、んふう、激しッ、っああっ、おっぱい出ますっ、ッあっ、イクっ、母乳出るッ、っう…
…！
全部飲んでくださいっ、あっ、ご主人様好きっ、おっぱいイキましゅっ、ッおおお……。！

[エリーゼ]

ッうおお……。！
おっ、んほッ、ッおお……。！
おっ、りやめっ、っあっ、伊っ、伊ったばっかの乳首ちゅぱちゅぱするのらめれしゅッ！

[リタ]

はいっ、ッあっ、んふあっ、っあっ、お出しくださいませっ、っあっ、私たちのお口にザーメン
くださいませっ！
ちゅるるううッ、っはーっ、おちんぼ様が気持ちよくなっていただけ証拠、お口マンコにドピ
ュってくださいっ！
ずちゅぱっ、ちゅるるっ、お願いしますっ、お射精お願いしますッ……。！
ずちゅちゅちゅうううッ……。！

[アルマ]

んぶううッ……。！

[リタ]

んぶうう……。！

[エリーゼ]

ッおっ、っああっ、吸いすぎでしゅッ、ッおおおお！！

[エリーゼ]

ッおお……ああ……へへ……っはー……。
えへへ……ご主人様、お口から母乳あふれてる……エロおい……。
それに、アルマあ……リタあ……。

[エリーゼ]

二人ともご主人様におちんぽ汁もらってズルいよお……。

[アルマ]

そんなことないよ……ねえ？

[リタ]

そーだよ……エリ姉だっておっぱいアクメキメさせてもらってたじゃん……。

[エリーゼ]

四の五の言わず……お姉ちゃんにもザー汁分けなさいっ！

[アルマ]

んぶッ……！？

[リタ]

んむうッ……！

[リタ]

んあっ、もうないっ、もう全部持ってかれちゃったよお……！
二人とも欲張りすぎい……！

[アルマ]

アタシも全然ごっくん出来なかったよ？
ってことは、お姉ちゃんが全部持ってったんでしょ……もー……返して、アタシの精子！

[エリーゼ]

んぶあっ、ちがっ、ッう、私だって全然お口に入ってきてないよ？
んあっ、ちょっ、舌入れてもッ、んぶっ、ないものはないのッ……！

[エリーゼ]
ッはー……！

[アルマ]
んはあ……。

[リタ]
はー……。

[リタ]
……あははっ、見て見て！
お兄さんのおちんぼ、またガッチガチになってる！
これでまたセックスしてもらえるねっ！

[アルマ]
だから、この方はご主人様でしょ～？
アタシみたいなメス豚のこと気持ちよく使ってくれるおちんぼ様なんだから、ちゃんと敬意を払わないと。

[リタ]
んう……はい……。
じゃあ、ご主人様……。
もう一度、リタの穴にハメていただけますか？

[エリーゼ]
それはダメよ。ねー？

[アルマ]
ダメだね。
だって、アタシもお姉ちゃんも、リタが交尾してもらってる間、ずっと待ってたんだもん。
こういうのは、順番にしてもらうのが筋ってモンでしょ。

[リタ]
えー？
でも、おちんぼ様にご奉仕するってことは、ご主人様が選んだ穴とセックスしたら、それでいいってことなんじゃないの？

[アルマ]
……とか言ってるけど、どう思う、お姉ちゃん。

[エリーゼ]
確かに、それもそうね……。
それじゃ……どの穴にハメたいか、ご主人様に決めてもらうことにしましょうか……。

[エリーゼ]
さ、ご主人様？

[アルマ]
こうやって仰向けになっておまんこ丸出しにしていると、なかなかいい眺めでしょ。

[リタ]
あぁん……さっき奥に出してもらったザーメン、逆流してきちゃったよお……。
ご主人様……早くその立派なおちんぼ様を奥までねじ込んで、精子注ぎ直してください……。

[エリーゼ]
私の穴も準備万端です……おまんこでもアナルでも、好きな方の穴でおちんぼ様をおシゴきください……！

[アルマ]
アタシ、さっきお外で中途半端に犯されてるから、子宮がザーメン欲しくてヒクつきまくってるの……。
ここまでおまんこハメずに我慢しつつけてたの偉いって思うなら、お願いだからアタシから使ってよ……！

[エリーゼ]
お願いします……。

[アルマ]
お願いします……！

[リタ]
お願いします……。

[アルマ]
あはっ、アタシからだぁ……！

[エリーゼ]
んうう……！

[リタ]
残念……。
でもアル姉に飽きたら、次は私のこと使ってくれるんですよね？

[アルマ]
飽きられないように頑張ってメス穴ぎゅーぎゅー締めてお相手させていただきます！

[アルマ]
んおおおッ……！！

[エリーゼ]
リタ……分かってる？

[リタ]

分かってるってことは無いけど……でも、エリ姉が何考えてるか、想像は付くかな……。
ご主人様のこと気持ちよくして中出しさせちゃえば、今度は私かエリ姉か、どっちかが選んでも
らえるんじゃないか……みたいな。

[エリーゼ]

さすがリタ、可愛くて天才。

[リタ]

えへへ……エリ姉に褒められちゃった～……。

[アルマ]

んおっ、ちょっ、ツう、んほっ、ッおお、何たくらんでんのッ、っあっ、っは一つ、そんなの絶
対ダメに決まってるでしょッ！

[アルマ]

んおおお！？

おっ、おほっ、おちんぼ強くなってるりゅっ、ッおっ、おっほッ、っおっ、声、抑えらんないッ、
ッおっ、ほっ、ッおお……！
ご主人様ズルいっ、ッおっ、耳舐めになんか負けちゃダメっ、ッおお……！
ちゃんとッ、っおっ、ちゃんとアタシに集中してッ！

[アルマ]

ッおおっ！？

おほっ、ッおっ、お姉ちゃんもッ、っおっ、おちんぼ様のこと止めてよおっ、ッおっ、おほ
っ！
おっ、んおっ、らめっ、っあっ、マン汁止まんないッ、っあっ、お漏らししちゃうよおっ！
ッおっ、んっほッ、っおっ、おっ、んおっ、ご主人様っ、ッおっ、おほっ、好きっ、好きれしゅ
っ！
おちんぼ様にどちゅどちゅされてイクの好きになっちゃったのおお！！

[リタ]

っは一……んもお、アル姉はこっちでしょ？
やらしく勃起させてるメス乳首、ご主人様にぎゅってしてもらお？
ほら……ご主人様、ばんばんの牛さんみたいなおっぱい、搾ってあげてください……。

[アルマ]

んおっ、ッおっ、ダメっ、ホントに今ダメなのっ、ッおっ、おおおッ……！！

[アルマ]

んっほッ、っおっ、おお……おほっ、うお、ツんんっ、ッお、おっほッ、ッおっ、おおお……！
おっぱいびゅーびゅーッ、っおっ、ヤバすぎなんだけどっ、ッおっ、おお……おほっ、ツう、ん
んっ……！
おまんこッ、ッおっ、服従させられちゃうッ、っおっ、おほっ、ツうおっ、んっほッ、っおお…
…！

[アルマ]

ッおああッ！！

おっ、しゅみましえんっ、ッおっ、してましたっ、もう完璧にご主人様の下僕マンコでしゅ！

おほっ、ッおっ、おほっ、おっ、生意気ザコマンコのくせにッ、っおっ、アクメ我慢しようとしてすみませんでしたあっ！

ッおっ、んほっ、ッおっ、おっ、ッおおっ、ッう、あっ、んはあっ、ッあっ、らめっ、ッおお…

…！

ぎぼちいっ、れしゅっ、おっ、好きっ、好き好きいっ！

[エリーゼ]

っはー……ご主人様……私たちの分も残しておいてくれなきゃイヤですよ？

[リタ]

そうですね。

ほら、アル姉の中に出すなら、さっさとぴゅっぴゅしちゃいましょ？

[エリーゼ]

出してください？

[リタ]

おキンタマの気持ちいいの、ぴゅーぴゅーしましょ？

[エリーゼ]

遠慮せずに……。

[リタ]

射精して？

[エリーゼ]

ほら、もうイキそう……。

[リタ]

出して……。

[エリーゼ]

中出しして……！

[リタ]

中出しして……！

[アルマ]

ッおおお！！！！

おっ、んおっ、ッお……ああ……りやめ……乳首ぎゅーしないれえ……！

お……んおお……！

[アルマ]

ッお……おお……おっぱいッ、ぎゅーぎゅーやあっ、ッおっ、んほお……。

お姉ちゃ……ッお……リタあ……ッお……あへへ……。

ご主人様の中出し、最高だよお……ッお……おほお……。

[アルマ]
っはー……ご利用、ありがとうございましたぁ……。

[リタ]
あへへ……やったぁ……エリ姉より先に私がおまんこだ～……。

[エリーゼ]
ご主人様を選んだんだからしょうがないよね……。

[エリーゼ]
それなら私は、耳舐めよりももーっと強烈に気持ちいいコトして、すぐにご主人様がイケちゃうように頑張ろっかな～？

[リタ]
ええ～？
エリ姉意地悪う……。

[アルマ]
何が意地悪よ。アタシが犯してもらってるときに散々耳舐めして……。ほら……ご主人様、こっち向いて？

[リタ]
んーう……その前に早くハメてくださいよお……。

[リタ]
ツおおお！！

[アルマ]
おちんぼ様はそっちのメス穴で気持ちよくなってください。
アタシは、お口の方にご奉仕しますから……。舌出して……ねっとりスケベなキスしましょ……。

[エリーゼ]
もう、二人とも……ご主人様にご奉仕するなら、ちゃんとおちんぼ様の周辺を愛撫して差し上げないとでしょ？
ひくついて美味しそうなご主人様のアナル、たっぷり舐めあげさせていただきます。
私のお顔マンコにお尻がぐいぐい当たっちゃうかもですけど、気にせずにリタとパコリ続けてくださいませ……。それじゃ……いただきまーす……。

[リタ]

んおっ、ッおっ、お姉ちゃんたちズルいっ、ッおっ、今はっ、っああっ！
私がっ、ッおっ、ご主人様をっ、独占できる時間なのにつ、ッおっ、おほおっ、ッお！
おちんぼ様っ、ご奉仕するのはッ、っおっ、私だけなのにつ、ッおっ！
ご主人様っ、こっち見てっ、ッおっ、あなたが使ってるメス穴の持ち主ッ、ちゃんとこっち見て
えっ！
おほっ、ッおっ、お願いっ、お願いだからあっ！

[アルマ]
っはー……ふふっ……どれだけ自分がひどいことしてたか分かった？
ご主人様……どうします？
リタのメス穴本気で犯します？
それとも……もう少し舌チンポでアタシのお口マンコ犯してくれます？
……えへへ……はあい……じゃあ、たっぷりファック、お願いしまーす……。

[リタ]
おっ、イグっ、らめっ、れしゅっ、ご主人様っ、ッおっ、イグっ、マンコイキましゅ！
おほっ、ッおっ、おちんぼ様に犯していただいてっ、ッおっ、ザコ穴イクのっ！
おほっ、ッおっ、イグっ、お潮出りゅっ、っおっ、先に一人でイってごめんなしゃいっ！
おっ、イグっ、イクイクイクイクうう！！

[リタ]
んおおお！！

[エリーゼ]
んぶッ……っはー……もお……ふふっ、リタったら……。
お姉ちゃんのお顔までメス汁まみれになっちゃったじゃないの……。

[アルマ]
っはー……ん……そっかあ……じゃあいいですよ？
うちの自慢の妹の情けないアクメ顔、しっかり目に焼き付けてください？

[リタ]
ふえっ……アル姉ッ、っおっ、んんっ……！

[リタ]
んおおおっ！！？

[アルマ]
ねー、この子可愛いでしょ……。

[アルマ]

3人の中で本当は一番スケベで、毎日何回もオナニーしちゃうような変態マンコなんですよ？

[リタ]

おっ、んほっ、ッおっ、言わないでッ、っおっ、おおおっ……！

[アルマ]

ご主人様みたいな強〜いオスに犯されたくて、交尾のトレーニング頑張ってたんです……。
ご褒美に、おちんぽミルクたっぷりぶち込んで、ご主人様のオナホってこと、脳と体に刻み込んであげてください……。
ああ……もうイキそうになってますね……分かりますよ……。
ほら、出る……目の前の穴に種付け……射精してくださいご主人様……。
イク……イクイクイクイク……。

[リタ]

ッおおおっ！！
おほっ、ッおお……！！
おっ、んおっ、これっ、ダメえっ、ッおおっ、んっほッ、っおお……！

[リタ]

んあああ……あへっ、ッああ……もう抜いちゃうんですかあ……。？
っはー……あへへ……そうですねえ……エリ姉にもおちんぽあげないとですもんねえ……。

[エリーゼ]

っはー……えへへ……お待ちしておりますあ……。

[エリーゼ]

さあ……孕みたがりのおまんこに、ご主人様の素敵なモノをぶち込んでくださいませ……。
……あ……いや、違いますよご主人様……そっちは違う穴です……。
んうう……せつくなら子宮に子種汁欲しいんですけど……。
分かりました……どうしてもと言うなら……。

[エリーゼ]

お尻マンコでも構いません……ご主人様のお好きな方の穴で、たっぷりおちんぽシゴいてくださいませ……。

[エリーゼ]

ッおお……！

[エリーゼ]

お、おっ、ッお、らめ、おっ、いぎなり、激しッ、っお……！

[アルマ]

あははっ、ご主人様ってば鬼畜う～。

[リタ]

アル姉、メス穴から精子漏れてる……もったいないから舐めちゃうね？

[アルマ]

んおっ、ぢよっ、ッおおっ！
何してんのっ、っあっ、さっきイったばっかでっ、ッおっ、敏感なんだからっ、ッおっ！
おほっ、ッおっ、おっ、やめなさいっ、ッおっ、このっ、んんっ……！
ッおっ、アンタのもっ、舐めさせなさいッ、っおっ、おほおっ……！

[リタ]

んうううッッ！！

[エリーゼ]

おほっ、ッおっ、ご主人様っ、っおっ、ぎぼちいっ、れしゅっ、ッおっ！
好きっ、おちんぼ様に使っていただけて幸せれしゅ！
おほっ、ッおっ、はいっ、っおっ、ケツ穴にお出してくださいっ！
いつでもっ、ザー汁ぶち込んでいただけますっ！
おっ、おほっ、私もイクっ、ケツマンコでおちんぼ様にご奉仕してイクのっ！
っおっ、イグっ、イクイクイクイクうう！！

[エリーゼ]

んおおおおッッ……！
おほっ、ッお……お尻、あぢゅいい……っお……おほお……ッはー……んおお……。

[エリーゼ]

んああ……もうちょっと、ッは一、いてくれてもよかったのにい……。

[アルマ]

お姉ちゃんが終わったなら、次はまたアタシですよ？
リタにたっぷりクンニされちゃって、もう準備万端ですし……。

[リタ]
それは私もおんなじですよ～？
さっきの交尾は私とだけじゃなかったじゃないですか。
私にだけ集中したドスケベ種付け交尾してくださいよお……。

[エリーゼ]
私はまだ子宮におちんぼ汁もらってないんですけど……。
ご主人様……ケツ穴犯してもらって期待しちゃってる淫乱オナホマンコ、使ってくださいよね…
…？

[エリーゼ]
種付けお願いします、ご主人様……。

[アルマ]
種付けお願いします、ご主人様……。

[リタ]
種付けお願いします、ご主人様……。

あ、ご主人様！

お待ちいたしておりました。

そろそろおちんぼ様の射精お手伝いができる時間かなと……。
今日は来てくれるのかなって心配になってしまって……。

……んう……だって最近、アルマとリタばかり可愛がってたじゃないですか……。
私だって、姉である前に一匹のメス豚……。
たまにはご主人様と一対一で、一晩中ザーメンまみれにさせていただきたいんです。

……えへへ……そうですよ？
ご主人様と交尾するのに、服なんていりませんからね。
最近はずっと全裸でオナニーしながら待ってるんです。
だから、もう今すぐおまんこ使えちゃいますよ？

……え？
お尻、ですか……？

……んうう……最近ご主人様、私とアナルばかりじゃありません？
……いえ……私もケツ穴犯していただけるのは好きですけど……。
……えへへ……そんな風に褒められちゃったら、アナルファックしていただくしかないじゃないですか……もう……ズルいですよ……。

……はい、ご主人様のための特別なおまんこです……。
立ちバックでおちんぼ様をねじ込んでいただければ、デカ尻でしっかり搾り取らせていただきます……。
好きなだけおちんぼシゴいてスッキリしてください……。

んおお……おお……っはー……ッああ……何回入れても気持ちいい……。

ッおっ、おっほッ、っおっ、おおっ、んおっ、ッはっ、はいつ、ッおっ、好きですっ！
ご主人様につ、ッおっ、お尻使っていただけるの幸せっ、ッおっ、おほッ、ッおお！
おっ、んおっ、はいつ、ッおっ、アナルに色々突っ込むオナニーもしてますっ！
っおっ、ッおっ、おっほッ、っおっ、だってっ、だってえっ！
おっ、ご主人様ッ、っあっ、おまんこなかなか犯してくださらないからッ、っああっ！
お尻マンコの方が敏感になっちゃってるんですっ、ッうう！
クリトリスイジリながらっ、ッおっ、前に突っ込んでッ、っあっ、そのままお尻にもねじ込むの好きなッ！
っおっ、おほっ、全部気持ちよくなるの好きッ！

っおっ、んおっ、あっ、らめっ、乳首ダメでしゅっ！
おほっ、今されたらっ、っあっ、おっぱい出りゅっ、ッう、んおっ、おっほッ、ッおっ！
おっ、搾乳だめっ、ッお、イグっ、おっぱいアクメ来るっ、っおっ、おおおお！！

んおおおお！！

おッ、ッお一つ、ッおっ、おふッ、っおっ、おっ、ケツ穴締めましゅ、おっ……！
あへっ、っあっ、らめっ、ガバガバになっちゃってりゅッ、っお、おほおっ、おっ……！
ぎぼぢッ、いつ、ッおっ、しゅきっ、おっ、イキましゅ！
おほっ、ッおっ、ケツアクメすゅ、おっ、ッおっ、おほっ、お、イグっ、イクイクイクイク
う……！！

ッおおお……お……んおお……！

……あへへ……ご主人様あ……。
今日はあ……まだまだ私と……交尾してくれるんですよえ……？
……いっぱいいっぱい、可愛がってくださいね……あへへへ……。

あ、来た来た～……。

今日はアタシでスッキリしたい気分なんだ……ふーん……。

……え、これ？

だって、服なんか着てたって、ご主人様にご奉仕するときには脱いじゃうし、こっちの方が楽になって。

……へへ……部屋中メス臭いのは勘弁してよ。

アタシだって、好きで発情してるわけじゃないんだし。

ご主人様のおちんぼと交尾すること考えたら、マン汁とまんないだけだから……。

……あー、そっか……アタシのところに一人で来たってことは、授乳手コキ、してほしいってことだね。

……んー、もちろん。

まあ、ホントはハメてほしいけど……ご主人様くらいの絶倫さんなら、一発くらい又いたってどうってことないでしょ。

……ほら、服脱いで、こっち来て。

ベッドの上で膝枕してあげる。

はいい……可愛い可愛いご主人様～……。

アルママの母乳で、おちんぼ様おつきくしちゃいましょうね～……。

んっ……っふー、ツう……んんっ……。

相変わらず乳首しゃぶるの上手……っはー……ああ……。

ダメ……これッ、っああ……昼間ずっとおまんこガマンしてたから……っはー……。

すぐにおっぱい出ちゃうッ……っうう……。

っはー……う、んんっ……ちゃんとッ、全部飲んでね……！

ああ……イクっ……おっぱい出るう……。

ッおああ……っはー……ああ……すっご……ッお……んんっ……っはー……。

んっ、ごめん……手コキしないとだよね……。

……ふふっ……もうめっちゃカタくなってるしい……。

っはー……んっ、おちんぼ様、気持ちいいですか～？

もしかしてご主人様も昼に射精してないのかな……。

ガマン汁ぐちゅぐちゅで、大変なことになってるみたいだけど……。

ふふ……んんっ……乳首吸ったまま顔振られるとッ、っはー……。

おっぱいゆずられて気持ちいいんだけどッ、っう……んんっ……。

んはあっ、ッあ……っはー……好き、ッはー……エロいこと大好きなご主人様ッ……。

んおっ、ッうう……はあっ、ッあっ……いっぱいスケベなことして遊んでくださいね……！

っはー、あっ、んんっ……もうちょっとなッ、んっ、シコるの速い方がいいですかあ？

っはあっ、んうッ、っあっ、分かりました～……。

じゃあ……ッはー、イカせるつもりでシゴきますね……。

その代わりっ、んはあっ、射精したら、ちゃんとアタシのメス豚発情マンコに種付けしてくださいよ？

んっ、約束、ですからね……！

んあっ、ッおっ、ツふっ、ツうう……！

んう、ッあっ、んはあっ、ッあっ、おっぱい激しいッ、っあっ、そんなに吸ったらまた出るッ、っあっ！

母乳おねだり上手すぎますってっ、っあっ、んおっ、おっ、おっぱいイクっ、ッおっ！

おちんぼシゴけなくなっちゃうから、ッおっ、お願いしますっ！

おちんぼ様気持ちよく射精してくださいっ！

おっ、んおっ、イグっ、イキましゅっ！

おちんぼ様びゅーびゅー、っおっ、お願いしましゅ！

おほっ、イグっ、おちんぼ様と一緒にイクのっ、イクっ、おほっ、イクイクイクイクうう……！
！

んおおおっ……！！

おほっ、ッお……ああ……あへへっ……ご主人様あ……おちんぼミルクすっごく出てるう……！

えへへ……見てくださいよコレえ……。

こんなの奥に出されたらあ、すぐに本物のママになれちゃいますよ？

スケベな子種汁で、アタシのことボテ腹オナホにしてくれますよね、ご主人様～？

ずちゅう……れちゅっ、れりゅれりゅ……ぬちゅうう……ちゅっちゅ……れちゅれちゅう……。
れろれろ……っはー……ちゅっちゅ、ぬちゅぬちゅう、ぐちゅぽっ、ずちゅぽっ、ずちゅずちゅ……。

んふー？

ッはー……えへへ……おはようございます、ご主人様～。

覚えてないんですか？

昨日の夜、お姉ちゃんたちと4Pして、そのままみんな気絶して私の家にいたんですよ。

ご主人様も珍しく全部のおちんぼ汁出しつくしたみたいだったんで起こさなかったんですけど……。

えへへ……ちらっと見たら、お布団持ち上がっちゃうくらい朝勃ちしてらっしゃったので……。

せっかくならメス穴使っていただきたいなー、なんて……。

それで、おちんぼ様にお口マンコでご奉仕しながら待ってました……。

ずちゅぽっ、ぐちゅるっ、ずちゅちゅうう……ねー、いいでしょー？
れりゅれりゅ……おキンタマに残ってるザーメン、出してくださいよー……。
ちゅっちゅ、ずちゅるうう……ぐちゅぐちゅう、ぬちゅぽっ、ご主人様の上で腰へこへこして
え……ちゅっちゅ……。
全自動オナホになりますから……。
ぐちゅるっ、ずちゅずちゅうう、ずちゅちゅっ、ぬちゅうう……。！
生ハメ種付け交尾大好きな淫乱メス豚マンコにい、ちゅっちゅ……おちんぼ様お恵みくださいま
せ……。
ずちゅるう、ちゅっちゅ、ぬちゅぬちゅうう……っはー……。

……えへへ……良いんですか～？
やったあ……。

じゃあ、もう入れますね……！

ッおお……。！
お……これ、っああ……ずっとおちんぼしゃぶってたから、入れただけでイキそお……。

おふッ、っお……違いますよお、私がするんです……。
ご主人様はそのまま寝ていてください——

んおっ、ッお……ああ……ダメですってば……。！

おッ、っおっ、らめっ、ッおっ、強すぎるッ、っおっ、おちんぼ様気持ちよすぎるのっ！
おほっ、っおっ、私がッ、っおっ、して差し上げたかったのにいつ、ッおっ、おっほっ、ッお
っ、おほっ、んおっ、おおっ……。！
下からッ、っおっ、こんなに突き上げられたらッ、っあっ、ホントにただのオナホになっちゃう
っ、ッおっ……。！
全自動オナホじゃなくてっ、ただの穴になっちゃうよおっ！

おっ、ッおっ、ぎぼちいいっ、れしゅっ、ッおっ、ご主人様っ、ご主人様との交尾好きっ！
おっ、んおっ、犯していただいてありがとうございます！
おほっ、ッおっ、んっ、ッおっ、おっ、ッおっ、おまんこめくれりゅ！
おッ、っおほおっ、おっ、イっちゃうっ、っおっ、私簡単にイっちゃうザコマンコれしゅ！

ごめんなしゃいっ、ッおっ、おちんぼ様差し置いて勝手にアクメしてごめんなさいっ！
おほっ、好きっ、イクっ、おっ、ッおっ、おおおっ！

おおおおっ！
おっ、おほっ、ごべんなしゃいっ、ッおっ、おほっ、ぎぼちよくてっ、潮吹いちゃいましたっ！
ッおっ、ご主人様べちゃべちゃにしてごめんなさいっ、ッおっ、んおっ、ッおっ！
はいっ、ッあっ、罰ならいくらでも受けましゅ！
おほっ、ッおっ、マン汁おもらしのダメオナホっ、ッおっ、いっぱい調教してください！

おほっ、ッおっ、おっ、おっ、ぎぼちいッ、おッ、ご主人様っ、ッおっ、おほっ、ッおっ！
おほっ、おっ、らめれしゅ、おっ、これっ、んおっ、ッおっ、おほっ、ッおっ、おっ、イイっ！

罰なのにつ、ぎぼぢいつ、ッおっ、おほっ、イグっ、イギましゅっ！
またアクメするのっ！
おっ、イグっ、はいっ、お出してくださいッ！
おまんこザーメンでいっぱいにしてくださいっ！
おっ、イグっ、イクっ、イクイクイクイクイクうう……！！

ッおおお……おッ、んお……ああ……あへへ……ぎぼぢいいれしゅ……。
ご主人様……最高お……！
っはー……っはー……。

……もし、ご主人様が良ければ、ですけど……。
このままもう1発、おまんこシていきませんか……。？
えへへ……抜け駆け交尾おねだりしちゃう悪～い発情マンコに……。
いっぱいいっぱい、お仕置き射精、してください……。